



令和5年度
介護労働講習(実務者研修を含む)

実施期間 6月15日～11月22日

～私たちは介護のプロを応援します～

(公財)介護労働安定センター
沖縄支部



修了者へ贈る言葉

受講生のみなさん、介護労働講習並びに実務者研修の修了おめでとうございます。6か月に渡る長いトレーニングお疲れさまでした。思い起こせば6月の開講式は、みなさんにとって緊張の中でのスタートだったかと思います。成長したみなさんに修了証をお渡しできたことをとてもうれしく思います。さてみなさんは今後それぞれに介護の現場へと向かわれるわけですが、介護労働安定センターとみなさんとは繋がっているということをお話しします。介護労働安定センターの業務は主に3つあります。一つ目はみなさんが勤務する介護事業所の働きやすい職場づくりの支援です。二つ目は介護人材の育成や専門性の向上支援です。三つ目は介護の魅力発信など総合的な情報提供です。皆さんが勤務する介護事業所にもセンターから様々な情報提供を行いますので、それを目にしたとき関心のある講習やセミナーに受講申し込んで、より見識を深めていただきたいと思います。また介護労働講習修了者を対象にネットワークの構築を進めています。修了者の中から近い将来に管理者や施設長さらには事業経営に携わる方もいらっしゃると思います。様々な職層においてそれぞれに課題を抱えることがあると思います。そんな時には介護労働安定センターや修了者のネットワークを活かして前に進んでいただきたいと思います。みなさん、ご自身の心と体の健康を気遣って元気でお過ごしください。今後ますますのご活躍を祈念いたします。

沖縄支部職員一同



講習風景



開講式



座学



生活支援技術



講習風景

医療的ケア演習



就職面接会



修了式





講習を終えて

今年も多くの受講者が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

介護の仕事は誰でもできるもの
と思っていました。学ぶうちに「尊厳」
や「その人らしく」について考えるこ
とや、多くの職員がかかわることで
チームとして支えることの大切さを
知り簡単な仕事ではないと感じまし
た。

色々な職種や個性あふれる講師
の方々が、それぞれの考え方をそ
れぞれの教え方で伝えてくださり、
とても楽しい講習でした。大変なこ
とを楽しさに変えるパワーを見習い
たいと思います。

学ぶ前と後では大きな変化があ
りました。自分のこと、家族のこと、
友人のこと、色々な学びの中で今
まで以上に感謝の気持ちでいっぱ
いです。

「介護を受ける人は何もできな
い」と決めつけていました。講習を
通して、介護する側が出来なくて
いるのではないかなど、相手の立
場になって考えるようになりました。

尊厳を大事にすることを学び、義
務感や押し付けではない介護や、
利用者に寄り添うことが大切である
ことを学びました。この事を心掛け、
仕事に生かしていきたいと思いま
す。

なんとなくの知識が明確になり、
さらに深く知りたいと思うようにな
りました。知識と技術を学べたことで
介護の世界へ踏み出す自信となり
ました。





就職先を訪ねて

大長 幸一郎さん

令和3年度修了者



介護労働講習で学んだことは？

介護は初めてでしたが、介護制度について全般的な理解が得られたこと。介護についての心構え、知識、実務的なことを学ぶことが出来ました。就職する際に不安感があまりなかったことは、学んでいたことが大きかったと思います。この機会がなければ出会えない方々と一緒に学べたことはとても良かったです。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

施設、デイサービス、訪問のどれにしようかと考えた時に、自分は訪問が合っているかなと思いました。ハードルが高いように感じていました。まずは施設で働いてからと当初は考えていましたが、思い切って訪問介護の会社にすることにしました。実際には、サービス責任者の方が同行して丁寧に教えていただきながらサービス内容を覚えていったので、割とスムーズに仕事が出来ようになってきたと感じています。利用者様は様々な方がおり、病院の送迎、買い物の同行・代行、掃除、洗濯、調理、シャワー浴介助、トイレ介助等々ご利用者様に合わせたサービスを提供しています。

講習内容などについてのご感想は？

講師の方は、介護、看護、事務方等の実際の現場で働いてこられた方々で、学ぶべきカリキュラムと現場とのバランスが取れた講義内容であったと感じています。私の時は、新型コロナウイルス真っ最中で、濃厚接触になった際は二週間休まざるを得なくなりましたが、後日、欠席の穴埋めが出来るように配慮していただいたことは感謝しています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

50代で新しい就職先を考えた時に、選択肢はあまり多くはありませんでした。その中で介護関係の就職先は可能性が大きかったので学んでみようと思いました。介護は利用者様やご家族様との関わりがあり、人によって合う、合わないがあると思います。それも含めて、この講習を学びつつ考えてみてほしいと思います。介護を知ることは、仕事でなくても、自分自身や家族のためにも役に立つのではないかと思います。



事業主さまから一言

介護老人保健施設オリブ園 施設長 梶原ひろみ

普段の仕事ぶりはいかがですか？



社会医療法人葦の会介護老人保健施設オリブ園には「介護労働センター」で基本を学ばれて、さらに介護と言う職種の大切さを理解されている方が入職されています。就職されて2年目になり、現在は通所で「それぞれの利用者に寄り添った」介護を実践して下さっています。介護と言う職業に真摯に向かう姿勢は他の職員へも良い影響を与えて下さっています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

当施設では「介護労働センター」で講師や実習受入もさせて頂いており「受講されている方」にも直接お会いする機会を頂いております。どの方も新たな目標に向かって生き活きとされておられる様子に、今後、さらに必要とされる介護力へ期待と希望を持たせて頂いております。皆様の介護職としての活躍はきっと「未来社会を元気にする」と信じています。